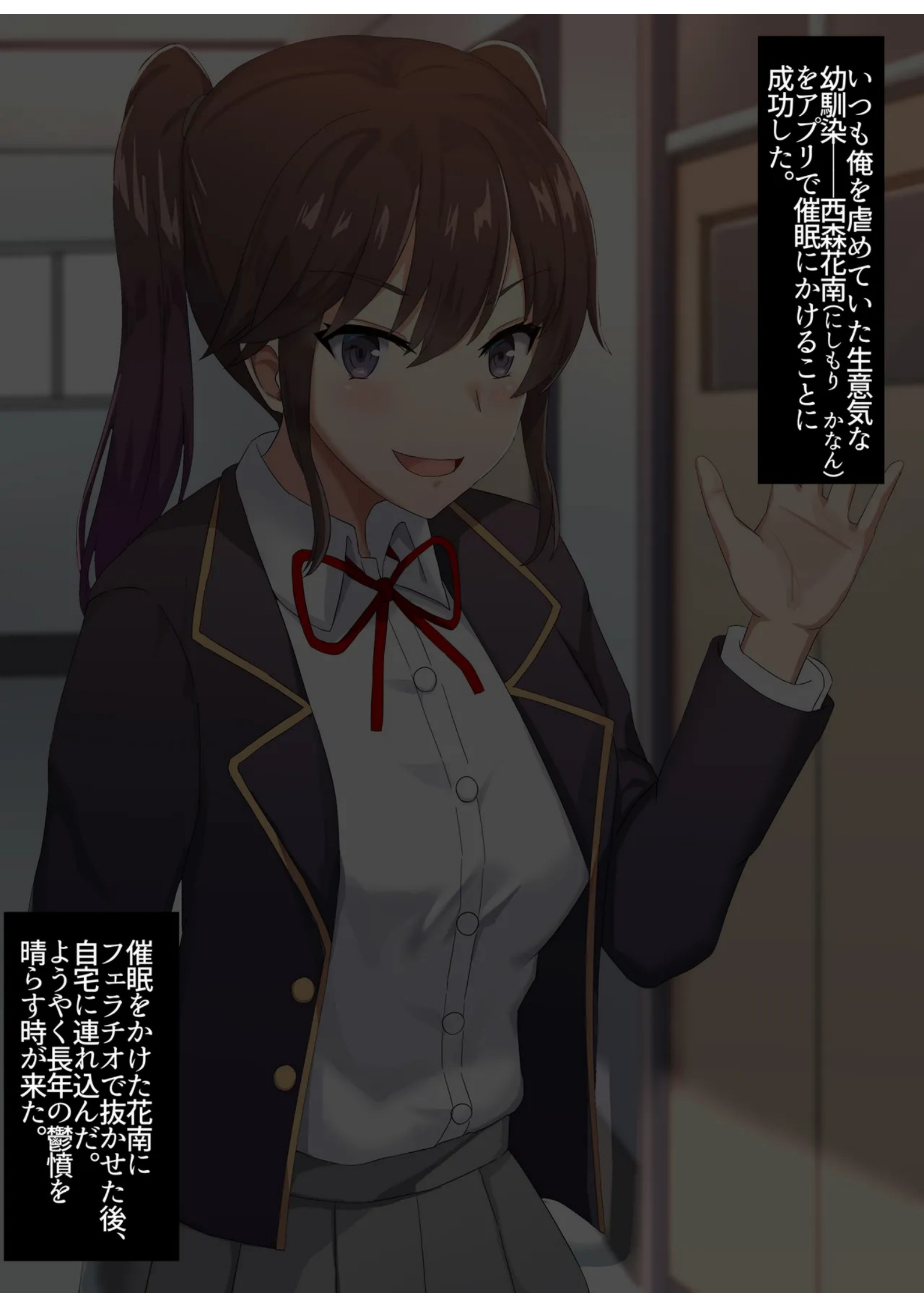




いつも俺を虐めていた生意気な
幼馴染——西森花南にしもり かなん
をアプリで催眠にかけることに
成功した。

催眠をかけた花南に
フェラチオで抜かせた後、
自宅に連れ込んだ。
ようやく長年の鬱憤を
晴らす時が来た。

何あたしの身体を
じろじろ見てんのよ
鼻息荒くしちゃって
ホントキモすぎ...♡♡

花南の割れ目は
すでに十分に濡れていた。
これも催眠アプリのおかげだ。

チンポも反り返って
ギンギンに期待しちゃって
これじゃあ罰ゲームに
ならないだろ♡

よし！きちんと
催眠が利いていて
これが俺への罰ゲームだと
誤認しつづけてるみたいだ。



あぁっ♡あぁっ♡あぁっ♡
挿入っ♡くるっ♡
あっ♡さい♡チンポが…♡

やべえ
花南のまんこ
想像以上だわ
まん肉がチンポに
絡んでくる…!!

今まで経験したことがない
快楽が下半身に広がる。
興奮がおさまらない。

蜜がしたたる窄みに
肉棒を宛がうとにゆるにゆると
吸い込まれていく。

ズズズ…♡

花南お前もしかして
処女なのか？
ちよつと締まりが
きつすぎるぞっ

ちっ♡
うるさいっ♡
わるいかよっ♡♡

うあっ♥なんだこれ♥
チンポGスポこすれる度に
頭が痺れる……♥♥

容赦なく子宮の奥
えぐられる：♡♡

処女のくせに
童貞燭りしてたのか……
罰としてしつかりこのまんこに
チンポの味を教え込んでやる！



うあっ♥やめろ馬鹿っ♥
そんなにチンポづつこつ
突くなあっ♥あああ♥♥♥

そこにはもう俺をイジめている
花南の姿はもうない。
肉棒になれるがまの
一匹のメスがそこにはいた。

だめ♥ああっ♥
来るっ♥♥来るう♥♥
ああっ♥♥あああ♥♥

射精すぞっ!!
花南っ!!
大量のザーメンを
注ぎ込んでやるっ!!



どびゅっ♡どくっ♡
びゅるっ♡びゅぽっ♡
びゅるるっ♡びゅうう♡
♡♡♡

イケっ!!
花南ッ!!

びゅるる♡



えっ...うそっ...♡
あたしこんなにいっちゃったの♡
はじめて...♡♡♡
オナニーと全然違う...♡♡♡

まだまだ
こんなもんじゃないからな
花南...

これから
たつぷりと積年の恨みを
はらしてやる...!!



数時間後——
俺はひたすら花南を
攻め続けた。

オラ花南っ！
もっといくぞっ！

んぎっ♡ひぐっ♡
イっ♡イきすぎて
苦しいっ♡♡♡
もう許して……♡♡♡

まんこがズボズボされて
気が狂いそうっ♡♡♡

ひたすらセックスを
し続けてるせいか
花南の秘部は赤く腫れていた。



おほっ♡おほっ♡おほっ♡
んおっ♡おほっ♡おほっ♡
子宮マンコがぶれるう♡♡♡

あ♡♡

あ♡♡

あ♡♡

あ♡♡

あ♡♡

結合部からは
お互いの体液が混じった
白濁の汁が溢れ、
部屋は淫臭で満たされていた。

おっ♡おほっ♡
極太チンポでぐちゅぐちゅ
まんこつぶされてっ♡♡♡
おあおあああっ♡♡♡

花南のまんこ
どんどん搾精を促してきやがる…!!
どうしようもない淫乱まんこだなっ!

あ♡♡
あ♡♡
あ♡♡
あ♡♡
あ♡♡

「おおっ♡おっ♡
もうゆるるじでえ♡
あやまるから♡
今までごめんあさいっ♡」

「俺も鬼じゃないからな
今回の種付けで
全部中出ししてゆるして
やるか」

「俺は催眠アプリの
感度ステータスを全開にして
おもいつき腰を打ち付けた。」

「ビビビビ」

「あーっ」

「あーっ」

「あーっ」

「ズン」

「ズン」

「はっはっは」

「ズン」

「ズン」

んおっ♡おおおっ♡
やべっ♡まんこめくれる♡
おおっ♡おおおっ♡

オナホ
自分が女で
あることを自覚しろっ！

おおおっ♡おおっ♡
くるくるくるっ♡
んおっ♡おっ♡
おおおっ♡おおっ♡

子宮密着の孕み射精で
種付けしてやるからなっ！



イキ死ね
オラアツ!!



長い間溜まっていた鬱憤が
ごっそりと落ちるかのよう
に花南の秘部からどろりと
半固形の精液が零れた。

まさか催眠アプリが
ここまで効くものだったとはな

この際だから
俺に嫌な思いをさせた女全員に
復讐してやるか……

うん
うん
うん

ぞろ

おあ
おあ
おあ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

ド
ド
ド

ぞろ























